

ハイマダラノメイガ情報第1号 (キャベツ、ハクサイ、ダイコン)

令和7年9月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

一部地域で発生を確認。ほ場での発生状況に注意しましょう！

1 発生状況

8月下旬のキャベツほ場における巡回調査（8地点16ほ場）において、一部地域でハイマダラノメイガの発生を確認し、寄生株率は0.44%（平年0.13%、前年0.00%）で、過去10年で2番目に高く、被害株率は0.56%（平年0.05%、前年0.00%）で、過去10年で最も高い状況です。

ハイマダラノメイガは夏期、秋期が高温・少雨の年に多発する傾向があります。名古屋地方気象台8月28日発表の1か月予報によれば、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並か少ない見込みであり、本種の発生に好適な状況が続くため、ほ場での発生状況に注意しましょう。

2 防除対策

- (1) ハイマダラノメイガの幼虫（図1）は、主に成長点付近を食害します。成長点を食害されると、正常に結球しないため、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (2) は種時や育苗期後半、定植時には粒剤などで防除しましょう。定植後も必要に応じて防除しましょう。薬剤感受性の低下を防ぐために、同一系統の薬剤を連用しないようにしましょう（表）。
- (3) 育苗時は、目合い2×4mm以下の防虫ネットなどで覆い、成虫（図2）の侵入を防ぎましょう。



図1 ハイマダラノメイガ幼虫



図2 ハイマダラノメイガ成虫

表 ハイマダラノメイガの主な防除薬剤

作物名	農薬の名称	使用時期	使用方法	IRAC コード※
キャベツ	ミネクトデュオ粒剤	は種覆土後～育苗期後半	散布	28、4A
	ダントツ粒剤	育苗期後半	株元処理	4A
	カスケード乳剤	収穫7日前まで	散布	15
	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	散布	30
	フィールドマストフロアブル	収穫前日まで	散布	4E
	コテツフロアブル	収穫前日まで	散布	13
	プレバソンフロアブル5	収穫前日まで	散布	28
	ブロフレアSC	収穫前日まで	散布	30
はくさい	ミネクトデュオ粒剤	は種覆土後～育苗期後半	散布	28、4A
	ダントツ粒剤	育苗期後半	株元処理	4A
	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	散布	30
	フィールドマストフロアブル	収穫前日まで	散布	4E
	プレバソンフロアブル5	収穫前日まで	散布	28
	ブロフレアSC	収穫前日まで	散布	30
だいこん	カスケード乳剤	収穫14日前まで	散布	15
	グレーシア乳剤	収穫7日前まで	散布	30
	フィールドマストフロアブル	収穫3日前まで	散布	4E
	プレバソンフロアブル5	収穫前日まで	散布	28
	ブロフレアSC	収穫前日まで	散布	30

※IRAC コードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRAC コードの詳細は、https://www.croplifejapan.org/assets/file/labo/mechanism/mechanism_irac03.pdf を参照する。
農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。